

小 1 部

王さまの
かみのけをきる
おやくめです。

小 2 部

王さまはじつと
さんぱつやの目を
見て言いました。

小 3 部

今から見る事を
ぜったいに人に
言っではならぬ。

小 4 部

王様はいつもかぶ
っているぼうしを
そっと取りました。

小 5 部

何とぼうしの下の
王様の耳はロバの
耳だったのです。

小 6 部

散ぱつ屋はこの事
をだれかに言いた
くてたまりません。